

第4次東海村子ども読書活動推進計画（案）に対する意見公募手続結果

第4次東海村子ども読書活動推進計画（案）に対する意見公募手続（パブリックコメント）を実施した結果について、下記のとおり公表します。

1. 計画の名称

第4次東海村子ども読書活動推進計画（案）

2. 意見公募方法

計画（案）を村公式ホームページ，東海村立図書館ホームページ上で公表するとともに，村立図書館，各コミュニティセンターに設置

3. 意見公募期間

12月17日（火）から1月17日（金）まで（必着）まで（32日間）

4. 意見提出者数（意見提出件数）

1名（4件）

5. 意見の要旨及び意見に対する村の考え方

別紙のとおり

意見の要旨及び意見に対する村の考え方

No.	ページ	意見の要旨	意見に対する村の考え方（案）
1		国の第五次計画及び県の第四次計画では、どのような内容の見直しがあり、村の第四次計画では、それらと具体的にどのような整合を図るのかを明記すると、国県の計画と今回の計画策定の背景と目的及び位置づけがより明確になると思います。	本計画案作成にあたっては、国の第五次計画及び県の第四次計画の方針等を踏まえておりますが、それ以外の子どもに関わる法律や計画も参考にしており、多方向からの検討を行ったため、ご指摘のような内容を明記しておりません。ご指摘の件につきましては、今後の計画策定にあたり参考にさせていただきます。
2	10	「第三次計画における課題」の（２）、（３）は、前述の取組から見える課題ではないのではないかと。むしろ、こうした課題に対し第三次で取り組んだが、課題解決に至っていないということではないかと思えます。	「みえてきた課題」は、「第三次計画で取り組んだ結果新たになった」ものと、ご指摘のような「取り組んだ結果、解決に至らなかった」ものも、「より顕著になった」ものとして記載しております。文の表記にわかりにくい部分があったと思われますので、「前述の取組を実施する中で、みえてきた課題」を「第三次計画に取り組んだ上での課題」に変更いたします。
3	17	第四次における評価対象として、「何かに取り組んだこと」を成果として評価するとあるが、加えて取組の結果として生じる変化を成果として評価すべきではないか。（２）の指標の設定は、そのようなことを意識した表記に思われます。	ご指摘のとおり、様々な計画推進にあたっては、取組の結果による成果を評価するものが多いと思われます。しかしながら、本計画は「子どもの読書活動の推進」を図るものであるため、活動の推進を測るものとして「何かに取り組んだこと」を成果として評価することとしております。（２）の指標の設定は、指標そのものから成果を評価するものではなく、評価するための目安のひとつとして設定するものです。
4	18	取組の指標として「１か月で何冊読んだか」を設定しているが、読書時間も指標に加えてはどうか。冊数が少ないから読書をしていないとは限らない。むしろ、資料編にあるように中学生が家では約４割がほとんど本を読まないということをもっと着目すべきではないでしょうか。	ご指摘の通り、「読んだ冊数が少ないから読書をしていない」とは限りません。「１か月で何冊読んだか」は、村内小中学校で実施しております「読書についてのアンケート」の中から抜粋したものでございますが、同アンケートの設問には「ふだん家でどのくらい本を読んでいますか」（読書の頻度を測るもの）もありますので、新たにこちらを指標として取り入れたいと存じます。

※寄せられた御意見のほか、今回公表しました計画（案）の一部を修正しましたが計画内容に変更が生じるものではありません